未来を築く 市制100周年

昔を振り返えり未来を考える市制100周年を迎え、4人の市民と若杉市長が語り合いました。

司会　新しい年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、明治二十二年、市制が施行され、港の町、水の都として発展を遂げてきた新潟市は、今年で市制百周年という大きな節目の年を迎えます。そこで今日は、百周年の記念行事で活躍が予定されています市民の皆さんをゲストにお迎えし、若杉新潟市長と、これからの新潟などについてお話をしていただきます。

市長、今日はいろんな年齢層の方がいらっしゃいますので、幅広いお話を伺えるかと思いますけれど。

市長　実は私、一月八日になりますと、古来稀（まれ）なりという年になるんです。

司会　古稀（こき＝七十歳）ですね。

市長　今日は最後の六十代として、頑張ってみたいと思います。

新潟市で気に入っているところは？

絵になる万代橋……穴沢
新潟人の素朴さ……桑田
日本海に沈む夕日……滝沢
温かい人柄……後藤

市長　ところで、みなさん新潟市のどんなところが気に入っていますか。

穴沢　私は、新潟大好きなんです。どなたもおっしゃることなんでしょうけれど、まず、お米がおいしい。実は新潟へ来たのも、それに魅力があったんでしょう。それから、野菜も豊富だし、四季折々の果物も豊富。そこへもってきて日本海がすぐそばで、あのピチピチした魚がすぐ食前に来るじゃありませんか。

市長　やっぱり野菜、果物が特に新鮮な感じがしますね。

穴沢　朝市も大好きでね。白山浦にしょっちゅう行って、おばさんたちと、仲間になっています。（笑）

市長　穴沢さん、新潟市のどんなところが、絵になると思われるんですかね。

穴沢　一番楽しくかけ、できばえが良くなったというのは、数ある中では、万代橋を絵の中に入れると、絵がよくできるんですね。不思議ともくじらない。

市長　万代橋はアーチが六つあって、……

穴沢　そうなんですよ。万代橋の上（かみ）の方からかいても、下（しも）の方からかいても、とにかく絵の中に万代橋を入れると絵が良くなってくるんです。昭和橋とか橋はたくさんありますね。ありますけれど、やっぱり、絵にしてみたくなると、つい万代橋が一番魅力がある。

市長　さすがは昔の人達は立派なものを残して下さいましたね。

司会　そうですね。やはり万代橋はまさに新潟市のシンボルですね。

穴沢　ただの橋と、ちょっと風情が違う。どこからかいてもくじらない。

市長　桑田さんいかがですか。

桑田　日本海側の最大の都市と言われておりますが、自然よりもまだ緑や、自然の美しいところがたくさん残っている町だと思います。その他に、昔から変わらない、素朴で優しい新潟人の素直なところがとても好きです。

市長　確かに、新潟は四季がはっきりしているんですよね。その点は、よそに行っても、胸を張っているんです。

桑田　そうですね。夏はやはり海水浴だし、また冬はスキーと、いろいろな遊びも楽しめると思います。

天気のよい時などはよく海へ遊びに行きます。テトラポットの上で波の音に聞き入っているのが好きです。

市長　テトラポットが、本当はないといいんですけれどね。

桑田　そうですね。

市長　砂浜の復元というのを我々、市民の皆さんと大勢で願っているんですが、これも自然現象でどうしようもないんですがね。もう一つは新潟の近くに佐渡が近寄ってくれたらいいと思うんですけれど。（笑）滝沢さん、いかがですか。

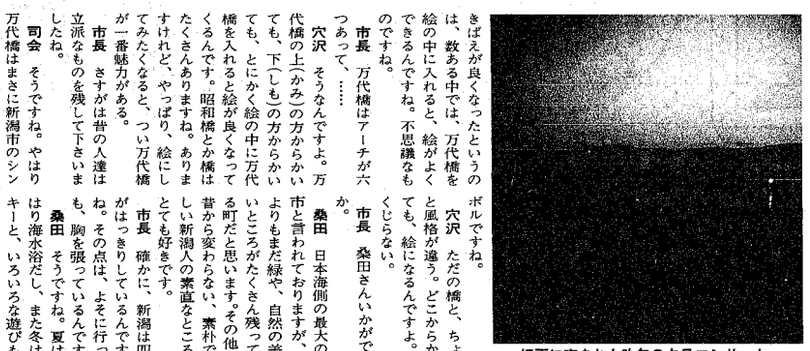
滝沢　日本海に沈む夕日が非常に好きで、海の近くに住んでいますので、夏なんかよく見に行きます。

市長　夕日コンサートも去年で3回目。だんだん有名になってきたようですが、盛っていると夕日が出ないわけで、そのへんが今年も心配ですね。

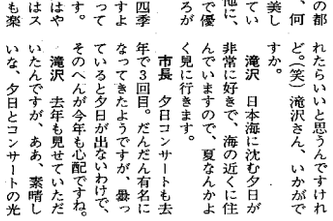
滝沢　去年も見せていただいたんですが、ああ、素晴しいな、夕日とコンサートの光が非常にいい雰囲気を出していたんで、見とれてしまいました。

市長　後藤さんいかがですか。

後藤　新潟市は昔から港の町だということで、本質的に非常に流動的な町だと思いますね。僕がすごくいいと思うのは、他から新潟に移って来た人が住んでも、みんな非常に温かく受け入れるといいますか、そういう人たちから話を聞きますと、大変住みやすい町だと言っておられます。


好天に恵まれた昨年の夕日コンサート

市民ミュージカル「アジブの扉」の新曲披露


西港の突堤から新潟島を望む

先人の努力で大きく発展

昭和23年の西堀マーケット裏

司会　先人の努力によって新潟市は大きく発展してきたわけですが、新潟市の町の移り変わりを穴沢さんは絵にかいてこられました。昭和二十三年にかかれた「西堀通り」の絵はどういった状況だったんでしょう。

穴沢　私は昭和十九年に新潟に参ったんですけれど、この絵はそれから4年目になります。今からちょうど四十年以上過ぎていますが、全く夢のような感じがします。

司会　絵を拝見しておりましたら市長、西堀の裏の方で皆さんお米とぎをしていたりとか、何か生活感あふれる絵ですよね。

市長　そうですね。当時はのような状態で、生活上いたしかたなかったという印象ですね。

司会　ところで今年は市制百周年ということですが、みなさんは個人として、どういった節目としてとらえていらっしゃいますか。

穴沢　とにかく百年は百年だけの、それだけいろんな点で、歴史を持っていると思うんですね。その発展の歴史をもう少し掘り下げて勉強していくというようなつもりで、ぼんやりしないで、もうちょっと研究的に思っているんですね。最近少しお治っきたようですけれど。実は、建設省の方から、「やすらぎ堤」というものを造ってもらいましたので、そんなのをきっかけにして、近々、今年というわけではありませんけれど、ここ二、三年の間に、信濃川べりを歩きながら、一つ大いに水に親しんでいこうと、そんな計画があるんです。

桑田　新潟はこれからますます発展していくと思うんですけれど、もっと自然や緑を生かした公園ですとか、信濃川の「やすらぎ堤」など、憩いの場所をたくさん作っていただけたらいいなと思っております。また、信濃川だけでなく、新潟には阿賀野川というもう一つの大きな川があります。あちらの方も、とても紅葉などがきれいなところがたくさんあるんですが、その良さを見出せるような場所がいま一つ乏しいように思うんですね。観光の方でも見に来ていただけるような、すてきな場所を設けてもらいたいな、と思っております。

市長　今の阿賀野川の話ですけれど、私ら子供の時に会津若松に遠足をしたんですが、顔中汽車のススだらけになりましてね。新潟市内を通っている阿賀野川のよさというのも、これは大事にしなければならんと改めて思いました。

桑田　そのほかに、市内の市民の憩いの場、コミュニケーションの場ですとか、市民の文化的な能力を発揮できるような施設などもたくさんできたらいいなと思っております。

滝沢　若い私たちの年代では新潟は暗いイメージといいますか、雪で囲まれた寂しいイメージの方が大きくて、大学生になるころにはみんな新潟から出ていくみたいな感じが多いんです。若い年代たちが、あまり新潟はいやだとかいわれているんですね。最近少しは治ってきたようですけれど。

司会　ところで今年は市制百周年ということですが、みなさんは個人としてどういった節目としてとらえていらっしゃいますか。

穴沢　とにかく百年は百年だけの、それだけいろんな点で、歴史を持っていると思うんですね。その発展の歴史をもう少し掘り下げて勉強していくというようなつもりで、ぼんやりしないで、もうちょっと研究的に思っているんですね。最近少しお治っきたようですけれど。実は、建設省の方から、「やすらぎ堤」というものを造ってもらいましたので、そんなのをきっかけにして、近々、今年というわけではありませんけれど、ここ二、三年の間に、信濃川べりを歩きながら、一つ大いに水に親しんでいこうと、そんな計画があるんです。

桑田　新潟はこれからますます発展していくと思うんですけれど、もっと自然や緑を生かした公園ですとか、信濃川の「やすらぎ堤」など、憩いの場所をたくさん作っていただけたらいいなと思っております。また、信濃川だけでなく、新潟には阿賀野川というもう一つの大きな川があります。あちらの方も、とても紅葉などがきれいなところがたくさんあるんですが、その良さを見出せるような場所がいま一つ乏しいように思うんですね。観光の方でも見に来ていただけるような、すてきな場所を設けてもらいたいな、と思っております。

市長　今の阿賀野川の話ですけれど、私ら子供の時に会津若松に遠足をしたんですが、顔中汽車のススだらけになりましてね。新潟市内を通っている阿賀野川のよさというのも、これは大事にしなければならんと改めて思いました。

桑田　そのほかに、市内の市民の憩いの場、コミュニケーションの場ですとか、市民の文化的な能力を発揮できるような施設などもたくさんできたらいいなと思っております。

滝沢　若い私たちの年代では新潟は暗いイメージといいますか、雪で囲まれた寂しいイメージの方が大きくて、大学生になるころにはみんな新潟から出ていくみたいな感じが多いんです。若い年代たちが、あまり新潟はいやだとかいわれているんですね。最近少しは治って